

憲法解釈で集団的自衛権の行使容認 反対する陳情を否決する理由は何か？

総務企画
常任委員会
6月17日

6月議会では市民団体から「憲法解釈の変更によって集団的自衛権の行使を容認することに反対する意見書」を国に提出することを求める陳情が出されています。
6月17日、総務企画常任委員会での審議の様子を知らせします。

委員長・難波達哉（あつぎみらい）
副委員長・井上敏夫（市政クラブ）
徳間和男（改革あつぎ）・高田浩（改革あつぎ）・奈良握（市民の党）・遠藤浩一（公明党）・井上武（新政会）

奈良議員 集団的自衛権に私は反対だ。国の状況をみると、各委員の意見を求めることがプラスに働くか。自民党の岐阜県連は「もうちょっと慎重にやってくれ」と。国民が真剣に考える時間を与える。反対と言うだけで、じゃあどうするのかと。「戦争がいやだね」だけでは済まない時代になっている。

遠藤議員 継続に。わが党はずっと慎重審議を求めている。

徳間議員 この種の陳情は地方議会になじまないとの認識でやってきた。防衛・外交は国とばかりも言えなくなる。こう具体的にになると真剣に結論を出さないといいけない。

奈良議員 我々は安保・防衛問題を背負って当選しているわけじゃない。議会を担っている人の意見を聞く。

徳間議員 うちの会派では、この問題について向き合っていない。地方の民意を優先させる。与党が結論を出す前に、早く採決を。

継続については賛成1名（遠藤）

採決結果は、賛成：奈良・高田、反対：井上（敏）・徳間・遠藤・井上（武）で不採択になりました。

今回の陳情は単に「集団的自衛権の行使容認に反対」ではなく、「憲法解釈の変更によって」です。ですから、立憲主義に関わる部分での重要な議論が全くされなかったことには、大いに不満が残りました。

また、陳情に反対する人は、しっかりと反対の理由を述べるべきです。

今週の活動から

平成27年度から小学校で使用する教科書展示会に行きました。絵や写真を多用し大変カラフルになっています。



6年の社会科では歴史の記述や問いかけが各社それぞれです。（上：釘丸久子議員）

アミューあつぎ6階のオープンスペースが好評です。この日は若者が多く利用していました。アミューではその日空いている部屋を学習室として開放しています。中央



の2本の柱にはイベント情報を貼ります。（下：栗山香代子議員）

6月議会

今後の予定

6月27日（金）9時～
常任委員長報告、各会派の討論の後、採決が行われます。
ぜひ傍聴にお出で下さい。

「なに？ 集団的自衛権って
戦争する国づくりを許さない」

学習
講演会

サッカーのワールドカップが始まり、マスコミの情報がそちらへ流れ気味。そんな6月15日（日）アミューあつぎで、厚木革新懇の学習講演会が開かれました。

講師は、憲法改憲阻止各界連絡会議（憲法会議）の代表幹事・川村俊夫さん。

安倍首相の私的諮問機関・安保法制懇が、集団的自衛権の行使容認を求める報告書を出した。政権担当者が、憲法に書いていないことを勝手に判断していいというのは、立憲主義の否定である。

「集団的自衛権」という言葉と概念は、サンフランシスコ会議での特殊な事情のもとに「発明」されたものだ。これまで大国が集団的自衛権の名を使って小国を攻撃してきた。アメリカによるベトナム戦争や旧ソ連のチェコ侵攻の例がある。

戦間地域で武力行使をするという事は、アメリカと一緒に地球どこでも戦争することになる。

日本国憲法では、国際間の紛争で武力による威嚇と行使は永久に放棄するとしている。戦争はあくまで違法なものである。

戦争は、軍隊だけがするものではない。教育に国防の意識を持ち込み、国民全体に国防が義務化され、徴兵制に。安倍政権の戦争する国づくりの完成像だ。

国民世論が急速に発展している。自民党内や同盟国アメリカでも批判が広がっている。全国で7528もの「九条の会」ができた。保守・革新の区別なく運動が広がっている。日本国憲法は不朽の先進性があり、今も世界の最先端だ。これを活かすのは実践次第。閣議決定をしても様々な法整備が必要であり今後の運動で阻止できる。ともかく、草の根の世論を変えていくために、地域の共闘をしよう。

講演終了後は質疑応答。その一部を紹介します。

◎厚木市にも「厚木市国民保護計画」がある。

有事体制、実は日本が戦争になることを想定して、国民が勝手に動かないための統制だ。

◎安倍さんにはまともに言っても効果なし。病気かな？ 不思議なことを起こすが、見返りがあるのだろうか。票とか、アメリカとか、企業とか。

「神経が細い人だ。支持率が下がったら、またおなか痛くなるのでは。」

おじいさんが二人いる。

一人・安倍寛は反戦思想をもった人。この人の血は一滴も受け継いでいない。

もう一人・岸信介は「占領軍は私を必要とする。反共の闘士としての力量を持っているからだ」「力こそ世の中のもの」と書いている。最初から民主主義の考えが無い人から、かわいがられたのが安倍首相。